

## LINEスタンプの解説

くろまつくん&こばみちゃん／芦屋市下水道課

(1)



下水道資材である『土管』と破裂音『ドッカーン』を掛けています。  
現在、土管(陶管)のほとんどが、耐久性の高いコンクリート製(HP管)や塩ビ製(VU管)に替えられています。

(2)



マンホールの穴を用いて、『恥ずかしい』という意味のことわざ『穴があつたら入りたい』を表現しています。  
マンホールは、人が入って下水道管の点検等を行うための重要な施設で、別名『人孔』とも言います。

(3)



下水道施設に繋がるトイレを用いて、ことわざ『水に流す』を表現しています。  
トイレには、ティッシュやおむつ等、水に溶けないものを流すと、下水道管の詰まりの原因となるため、お気をつけください。

(4)



日常が『つまらない』と、下水道が『詰まらない』を掛けています。  
日常も下水道もつまらない、平凡な日々こそ、気づいていないだけで、実は幸せな日々なのかもしれません・・・。

(5)



下水道施設に繋がるトイレを用いて、『断る』時に使うワード『今無理です』を表現しています。

当たり前を使用しているトイレですが、快適なトイレライフには、下水道施設は欠かせません。

(6)



関西弁で、マンホール蓋が『開かん』と、『ダメ』という意味の『あかん』を掛けています。

マンホール蓋は、重車両の通行等で食い込み、簡単には開かなくなる時もあります。近年、マンホール蓋の各メーカーから対策された新製品が発売されています。

(7)



マンホールを使った『ものポケ』シリーズ。『行ってきます』と、『マンホール』を組み合わせた言葉です。

(8)



くろまつくんが、下水道施設の点検のため、マンホールの中に入っていきます。マンホールに入る時は、酸素濃度や硫化水素濃度を測定し、安全確認をした上で入ります。

(9)



マンホールの中は、下水道施設の点検ができるよう空間が、広がっています。マンホールから、テレビカメラを入れて、下水道管の状況を確認したり、管の清掃を行ったりする事ができます。

(10)



ことわざの『臭いものに蓋をする』は、その場しのぎの対応をするという事で、良い意味ではありませんが、汚水のマンホール蓋は、悪臭を防ぐため、密閉式となっています。雨水や合流式の蓋は、水や空気を通すための穴が開いています。

(11)



下水道の深さは、場所によって様々ですが、1.5メートル以上ある場合が多いです。下水処理場付近の最も深いところだと、9メートルを超えます。誤って落ちないように注意が必要です。

(12)



マンホールの蓋を開けて点検している時は、歩行者が落ちないように、見張りをつけています。作業中に、通行人がのぞきこむ事があります。覗いてみたい気持ちはわかりますが、危ないのでおやめください。

(13)



マンホールを使った『ものポケ』シリーズ。LINE スタンプでよく使われるワード、『ただいま』を表しています。下水道の異常がなかったみたいでほっとした表情を浮かべています。点検、ご苦労さまです。

(14)



こばみちゃんがマンホールにはまり、抜けなくなっています。下水道のマンホール蓋は、直径 60cm あり、現実には、人がはまって抜けなくなるケースはありません。人が入らない、直径 30cm の小口径マンホールもあります。

(15)



下水道管の改良工法として、管更生(ライニング)工法というものがあります。これは、既存の下水道管の内側に更生材料を設置する工法で、道路を掘る事無く施工する事が可能です。

(16)



『おすい』という言葉が掛かったダジャレです。下水道は、バキューム車や高圧洗浄車を使用して、清掃を行っております。

(17)



近年、問題になっているゴリラ・・・失礼、ゲリラ豪雨。  
短時間の急激な雨は、下水道施設にとっては、大変危険です。

(18)



現実にマンホールから水の吹き出しがあれば、笑っているわけではありません。  
豪雨により、下水道管内に急に大量の雨水が流れこむと、管内の空気圧が増し、マンホールから水が噴き出す現象があります。

(19)



下水道の排水能力を超えてしまい、マンホールから水が溢れる場合もあります。  
芦屋市では、10年に一度の雨に対応した下水道施設の整備を進めております。

(20)



豪雨対策も、下水道の重要な役割の1つです。  
事故がおきないように、文字通り『背水の陣』の気持ちで、排水計画を進めてまいります。

(21)



下水道の工事中は、交通規制や騒音等、近隣の皆様には多大なるご迷惑をおかけしております。  
いつもご協力いただき、本当にありがとうございます。

(22)



連絡で使うワード『合流します』と、下水道の『合流』を掛けています。  
芦屋市では、汚水と雨水を分けて排水する『分流式』と、合わせて排水する『合流式』の2種類の下水道が整備されています。

(23)



汚水や合流水は、芦屋市内に2箇所ある下水処理場で処理し、きれいな水を海に流しています。  
雨水は、下水処理場にはいかず、直接、川や海に流れています。

(24)



下水道について知ってもらうため、全国でマンホールカードが配布されています。  
芦屋市でも2種類のマンホールカードを配布していますので、是非、受け取りにきてください。